

# 第4次大洲市食育推進計画の評価指標

	評価指標	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和11年度)
1	「食育」に関心のある人の割合の増加	68.8%	90%以上
2	朝食または夕食を家族の誰かと一緒に食べる「共食」の割合の増加	78.5%	85%以上
3	地域等で共食したいと思う人が共食する割合の増加	43.2%	75%以上
4	朝食を欠食する人の割合の減少	小学生 12.5% 中学生 11.4% 20~39歳 44.0%	0% 0% 15%以下
5	朝食に、主食・主菜・副菜がそろっている人の割合の増加	43.5%	60%以上
6	学校給食における大洲産の生鮮野菜・果物を使用する割合	(令和4年度) 金額ベース 68.0% 重量ベース 68.9%	さらなる向上を目指す 77.0%
7	主食・主菜・副菜を1日2回以上ほぼ毎日食べている人の割合の増加	全体 49.0% 20~39歳 31.9%	60%以上 50%以上
8	野菜をほぼ毎日食べる人の割合の増加	66.0%	80%以上
9	適正体重(18.5 ≤ BMI < 25)を維持する人の割合の増加	69.7%	75%以上
10	生活習慣病の予防や改善のために、普段から減塩に気をつけている人の割合の増加	49.7%	80%以上
11	ゆっくりよく噛んで食べている人の割合の維持	80.0%	80%以上の維持
12	食に関する農林漁業を体験したことがある人の割合の増加	79.2%	90%以上
13	産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ人の割合の増加	65.8%	80%以上
14	食品ロス削減のために何らかの行動をしている人の割合の維持	95.9%	90%以上の維持
15	地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等継承し、伝えている人の割合の増加	45.5%	55%以上
16	安全な食生活を送ることについて、普段から気をつけている人の割合の増加	87.5%	90%以上

● は、第4次計画で新たに設定した評価指標



発行  
大洲市 市民福祉部 健康増進課  
〒795-0064 愛媛県大洲市東大洲270番地1  
TEL 0893-23-0310 FAX 0893-23-0311

# 第4次大洲市食育推進計画

令和7年度～令和11年度(ダイジェスト版)

## 基本理念

すべての市民が、生涯にわたって健康で楽しい食生活をおくり、心身ともに豊かな人生をおくる

## 重点目標

- 自然の恵みに感謝し「食」を大切にする心の育成(人間形成)
- 「おおず」の環境と食文化に根ざした食育の推進(地域活性化)
- 市民一人ひとりの健全な食生活の確立と実践(健康増進)



持続可能な開発目標(SDGs)が掲げる「誰一人取り残さない」という考え方は、住民一人ひとりが主体的に食育の推進及び健康づくりに取り組み、それを地域全体で支えることを目指す本市の取組と一致するものです。

本計画では、特に以下に掲げるSDGsの6つの目標を意識し、地域や関係団体及び関係機関等と連携のもと、持続可能な食育を推進します。



誰もが、安心・安全な栄養のある食料を、手に入れられるようにします。



すべての市民が健康で楽しい食生活が送れるよう、市民の健康状態の維持・向上に取り組めます。



各種講座や食育の取組等を通じて、生涯にわたって市民の生きる力を育みます。持続可能な食生活や食文化について学び、次世代に繋げます。



支え合いと助け合いによる健康づくりを通じ、安心して暮らせるまちづくりを推進します。



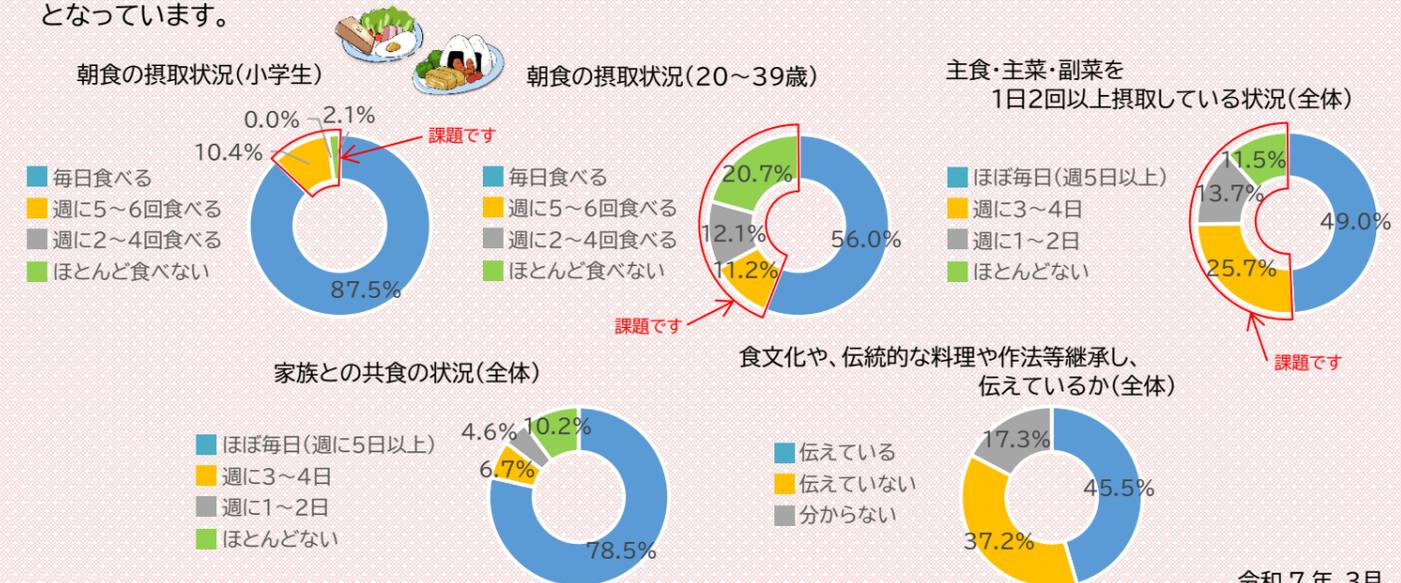
家庭等で食べ物を無駄にしないように、環境にも配慮した食事を心がけます。生産、流通段階を含めて食品ロス削減に努めます。



行政、住民、保健・医療・学校・福祉の各機関や関係団体等の協働で食育を推進します。

## 食に関する現状と課題

令和6年に実施した大洲市食育アンケートでは、特に若年層世代の朝食の欠食、全体として栄養バランスの偏りなどの課題がみられました。また孤食による「食」への意識低下や食文化の喪失、物価高騰による食生活の偏りなども問題となっています。



令和7年 3月

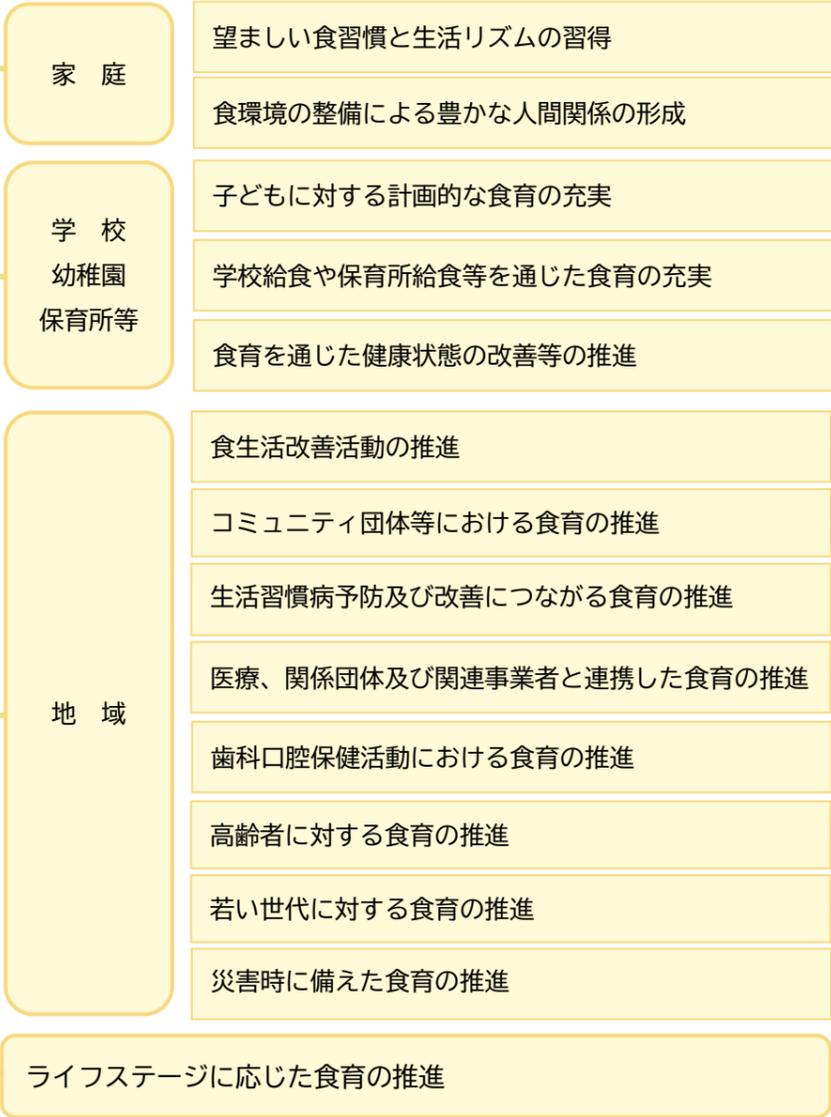


# 第4次計画の取組一覧

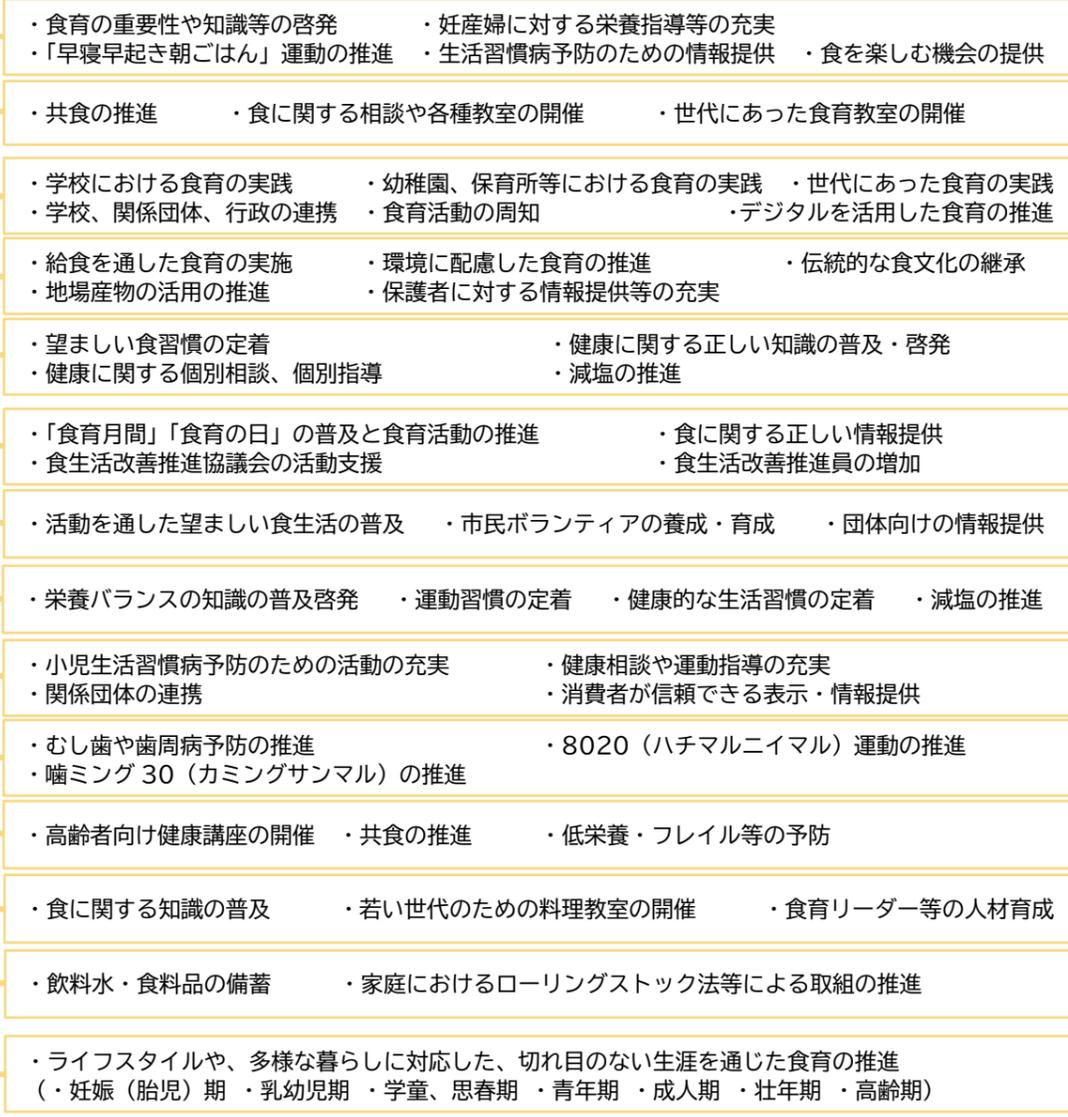
## 〈基本方針〉

1 家庭・学校・地域等それぞれの役割に応じた食育の推進  
(市民の健康の視点)

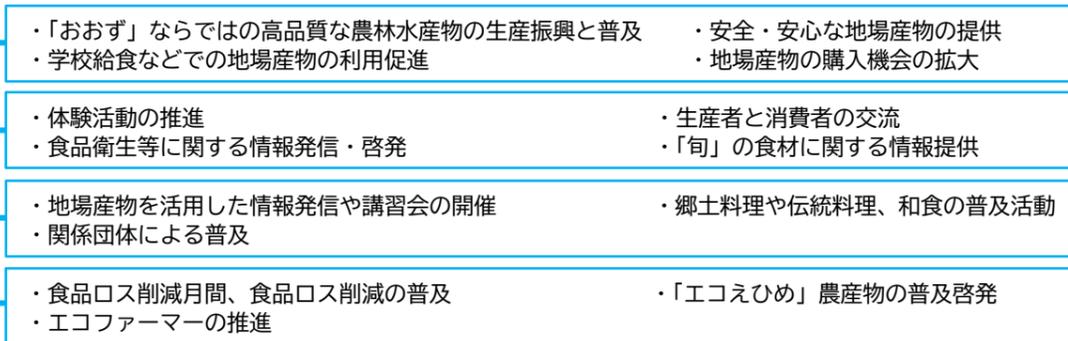
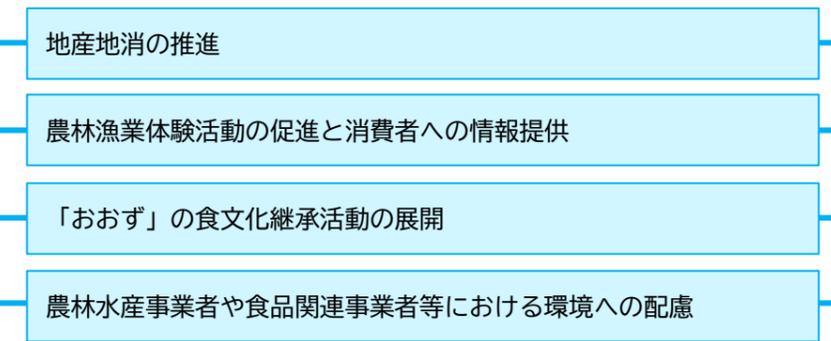
## 〈基本施策〉



## 〈主な取組〉



2 持続可能な食を支える食育の推進  
(社会・環境・文化の視点)



## 「大洲市食育アンケート」の結果からみえた特徴

\*朝食の欠食率が小学生で増加傾向にある。

\*20～39歳の朝食の欠食率が極めて高い。また、食事のバランスが整っていない傾向がある。

\*食文化を受け継ぐことに関する意識が低い。

\*生活習慣病予防や改善のために普段から減塩に気をつけた生活をしている人は、全体で約5割の人である。

\*全体で9割以上の方が食品ロス削減に何らかの行動をしている。

\*全体で約8割の人が食に関する農林漁業体験をしたことがある。